

# 香川県立中央病院 医療セミナー

## 令和6年 9月5日(木)

### 19:00~20:00



#### 演題

## 胸腹部CT矢状断像で椎体骨折を探して始める骨粗鬆症対策 Keywordsは『併存疾患』と『連携体制』

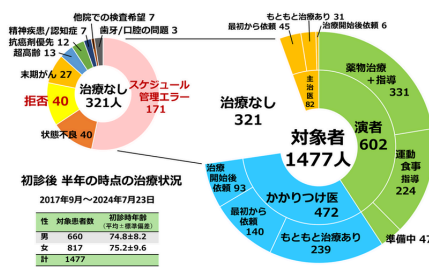
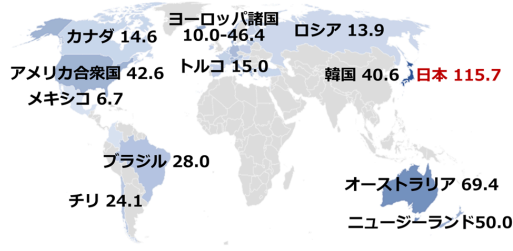
#### 講師

香川県立中央病院 リハビリテーション科 診療科長 本田 透

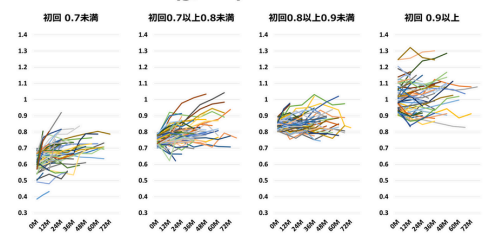
#### 講演内容

ガイドラインによれば、脊椎に脆弱性骨折がある患者さんは骨粗鬆症の治療対象です。また、一般に、『生活習慣病』も各臓器の『がん』も、骨粗鬆症の増悪因子になり、一方、活動レベルが高い患者さんほど再発率が低く、生命予後が良好です。表題の方法で椎体骨折を持つ患者さんを特定し、併存疾患に留意して骨粗鬆症対策を始めましょう。これまでに402の医療機関（143の歯科診療所を含む）にご協力頂いております。今後の治療体制について皆様のご意見も頂きたいです。

100万人当たりのCT スキャナの台数



骨密度(g/cm<sup>2</sup>)の変化：女性 腰椎



#### 対象

医療、介護関係機関等の医師・スタッフ

#### 開催場所

1階講堂 または オンライン(Zoom)での参加

#### 申込方法

右のQRコードをスマートフォン等で読み取り、参加申込みフォームからの登録をお願いいたします。  
または、別紙の申込書でFAXにてお申し込みください。  
Zoomでご参加の場合は、お申込みいただいたメールアドレス宛に、後日ZoomのミーティングIDとパスワード、及びURLをお知らせします。  
※日本医師会生涯教育制度1単位申請中です。  
※なお、1アドレスにつき1単位の取得のため、複数人で受講した場合は、表示名以外の方の単位は認められませんので、ご注意ください。

お問い合わせ先

香川県立中央病院 医事・経営企画課 TEL:087-802-1398(直通)

主催：医事・経営企画課、広報委員会 共催：患者サポートセンター、がん診療委員会

申込締切  
9/3(火)

お申込みはこちらから

